１学期も残すところ、１ケ月弱となりました。４月当初は不安げだった新入園児も幼稚園の楽しさを知り、自分のしたい遊びに没頭する姿が見られます。

進級児は、日毎に年長児らしい姿を見せてくれます。また、４歳児の姿を見て、「ちいさいさんの時は、自分もそうやったな・・・」「おおきいさんが助けてくれてたんやな。また、１年生に会ったら、お礼言うわ。」と振り返り、感謝する姿も見られ、異年齢児学級保育の良さを感じています。

暑さも本格的になってきました。プール遊びがない日も、園庭でビニールプールやシャワーなどの水遊びを行う予定です。夏ならではの遊びを楽しむ中で、暑さに負けない元気な身体をつくっていきたいと思います。

感染性疾患も流行しやすい時期です。こまめな水分補給や十分な休息など、ご家庭におかれましても、お子様の体調管理をお願いします。

★水遊び・プール遊びについて

お天気が良く、幼児プールの割り当てのない日には、基本、園庭で水遊び（ビニールプールやシャワーなど）をします。

子どもたちの体調把握のため、幼児プールの割り当てでない日も、健康観察カードの提出、水遊びのご準備の程、よろしくお願いします。

健康観察カードには、前夜からのお子様の様子、当日の朝の状態などを把握の上、水遊び・プール遊びの参加・不参加を保護者の方の責任のもと、決定し、ご記入をお願いします。印もお忘れのないように、提出の程、お願いします。（健康観察カードの提出がない場合、水遊びには参加できません。）

幼児プールでのプール遊びは６月～７月の４回と予備日１回とお知らせしていますが、晴天が続き、３回入水できた時点で、その後の幼児プールの使用はありません。その際には、園で水遊びをしますので、お知りおきください。

★ＰＴＡ夏まつりについて（５日）

幼稚園委員さんが楽しいアイディアを出してくださいました。幼稚園委員さんを中心に、保護者の皆様にご協力いただき、夏まつりを開催したいと思います。お世話をおかけしますが、ご協力、よろしくお願いします。

小学校１年生の児童や未就園児も招待しています。雨天でも開催しますので、ご近所に小さいお子様がいらっしゃいましたら、お声かけをお願いします。

集合時間は９：３０、夏まつり開始は１０：００です。

★七夕の短冊について

６月２９日（木）７月７日（木）の２日間、小学１・２年生と交流を行います。２９日は事前に遊び交流を、７日に七夕交流会を行い、１・２年生と笹飾りを作ったり、一緒に飾ったりします。

そこで、**七夕の短冊を１枚、持ち帰ります。**

ご家族の皆様で、ご相談いただき、**ご家族の皆様のお願い事を１つ書いて、７月５日（水）までに持たせてください。**絵を描いてもかまいません。**名前も忘れずに書いてください。（子どもたち自身のお願い事は、園にて短冊に書いて準備しますので、ご安心ください。）**

★夏季休業中のにこにこルームについて

夏季休業中もにこにこルーム（幼稚園アフタースクール）を実施しています。山滝中学校のクラブ活動の生徒も遊びに来てもらえるよう、中学校の先生方にお願いしています。夏季休業開始日の２１日には盆踊り大会を行います。クッキングや楽しいイベントも企画中です。後日、お知らせしますので、是非、ご利用ください。夏季休業中は利用日の前日までに、電話で申し込みをいただき、当日、保護者負担金をご持参ください。

※電話申し込みをお受けした時点で、当日、なんらかの都合で欠席された場合、２週間の振替対象となり、保護者負担金をお支払いいただくことになっています。ご了承いただきますよう、よろしくお願いします。

また、４時３０分のお迎えに５分以上遅れますと、１００円徴収させていただくことになっています。岸和田市立幼稚園のきまりとなっておりますので、ご理解ください。

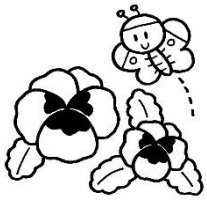
負担額

		４時３０分	６　　時
７月 日利用	２０日まで	５００円	６００円
	２１日から	８００円	９００円
７月 月利用		７０００円	８０００円
７月 年利用		６３００円	７２００円
８月 日利用		８００円	９００円
８月 月利用		９０００円	１００００円
８月 年利用		８１００円	９０００円

園生活の中で・・・　～自然とのかかわり、生命の尊重について～

６月、黒と赤の模様をつけたチョウチョの幼虫が、たくさんプランターのパンジーにつき、葉っぱを食べ散らかしていました。子ども達に小さな生き物の命の存在に気づいてほしいと願い、観察ケースに入れ、幼虫～さなぎ～成虫へと成長していく様子を子ども達とともに見守っています。

ある日、パンジーが成長し過ぎて、プランターから盛大にはみ出てきていたため、はみ出ていた花や葉っぱをたくさん切りました。『（観察ケースに）たくさん葉を入れても、幼虫は自分で葉っぱをつたって、ケースの上部に出てくるから大丈夫！』と今までの経験から、教師は園児が保育室で活動している間に、こっそり山盛りサイズのパンジーの葉を入れ、置いておきました。



活動を終えた４歳児が、**「先生、大変！大変！来て～！」**と、教師に訴えに来ました。「えっ？どうしたの？」と尋ねると、**「あのな、（観察ケースに）いっぱい葉っぱ、入ってるねん！あんなに入ってたら、チョウチョの赤ちゃん、息、でけへん！かわいそうや！」**

・・・そうです。葉っぱが入り過ぎているために、幼虫が呼吸困難になってしまうと子ども達は考えたのです。子ども達に好奇心や探求心が育ってきている姿は、日頃、夏野菜の生長を楽しみにしている声や表情から常に感じていましたが、“心❤”がこんなに育っているとは・・・とても嬉しく思った瞬間です。

子ども達の声に慌てて観察ケースをあけ、葉っぱを取り出し「これで、大丈夫かな？」と尋ねると**「うん、ＯＫ！先生、ありがとうございます！」**と子ども達。命を大切にしようという心の表れだなと嬉しく思いました。

昨年、初めて幼稚園の玄関軒下につばめが巣を作りました。「あっ、つばめさん、飛んできてる！」「赤ちゃん、生まれるかな？」と楽しみにしていましたが、度々、カラスに襲われ、巣作りを途中で止めたり、卵が落ちて割れたりしました。そんな様子を見て、ガッカリしていた現５歳児。

今年度に入り、再び、つばめが飛んでくるようになりました。登園時に園児を送ってきてくださったおばあさまに「ネットを吊るしておいたら、カラス避けになりますよ。」とお声をかけていただきました。

【つばめとカラスは飛び方が違うため、ネットを避けて巣に戻れるつばめに対し、カラスはネットをうまく避けれない】という情報も得て、早速、ネットを吊るしました。

昨年の悲しい記憶から、つばめの巣を見守っていた５歳児から、**「先生、あんなん（ネットのこと）つけてたら、つばめさん、帰ってこられへんちゃうん？」**「それがね、カラスとつばめは飛び方が違うから、大丈夫らしいねん。今日は、一度、これで様子を見て、もし、つばめさんが帰ってこれなかったら、また、みんなで考えよう。」と一日、様子を見てみることにしました。

１時間くらい、巣に帰らず、警戒しながら飛んでいたつばめでしたが、安全であることがわかったのでしょう。上手にネットの横から巣に戻ってきました。**「先生！見て！つばめさん、帰ってきてくれた！」「巣の上に乗ってる！」「すごい！帰って来れたんや～！」**と感動の声があがり、**「卵、産むかな？」「赤ちゃん、生まれてるんかな？」「楽しみやな！」**と日々、巣を見上げては、教師や友達と声を交わす子ども達です。

幼稚園には学校のように教科書はありません。そのような中で、教師は幼稚園教育の基礎となる“幼稚園教育要領（文部科学省）”をもとに、日々の指導計画を作成しています。

幼稚園教育要領の第１章　総則の第１“幼稚園教育の基本”にこのような文章があります。

「幼児期の教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

このため教師は、幼児との信頼関係を十分に築き、幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方・考え方を生かし、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする。」

幼稚園教育は幼児期の特性を踏まえながら“環境を通して行う教育”なのです。子ども達の気づき、発見が感動につながるとともに、友達と共感したり、生き物に対しても思いやりや優しさをもって接したりする姿を目の当たりにすると、成長を感じずにはいられません。

日頃の私たち教師の環境整備やかかわりが大きく子ども達の成長に影響することを踏まえ、全力で頑張る日々です。もちろん、幼稚園教育だけでは、このような力は育むことはできません。日々、お忙しい中で、子育てにご尽力いただいている保護者の皆様のご家庭でのかかわりが子ども達の頑張りの基礎となっています。今後とも、ご家庭の皆様と力を合わせて、子ども達の成長を見守っていきたいと思っています。ご協力の程、よろしくお願いします。